

[年度] 平成20年度和歌山県農林水産総合技術センター研究成果情報

[成果情報名] ウメ「古城」の授粉樹には「八郎」が適している

[要約] ウメ品種「八郎」は、花粉に稔性があり、開花時期は「古城」と重り、「古城」と交配親和性も高いことから、「古城」の授粉樹に適している。

[キーワード] ウメ、古城、花粉稔性、開花期、交配親和性

[担当機関名] うめ研究所

[連絡先] (0739) 74-3780

[部会名] 果樹

[分類] 研究

[背景・ねらい] 近年、本県の早生青採り主要品種である「古城」は、慣行授粉用品種の「南高」や小梅類（白王など）と開花時期の不一致が生じており、交配が不十分で結実率の低下が見受けられる。そこで、うめ研究所で保存している品種・系統の中から、「古城」と開花時期が重なり花粉の稔性や交配親和性のある品種を調べ、「古城」の授粉用品種を選抜する。

[成果の内容・特徴]

1. うめ研究所に植栽されている実ウメ51品種のうち、34品種は花粉稔性がある（表1）。
2. 2008年のウメ品種の開花状況調査から、花粉稔性のあった34品種の中で、「八郎」の開花時期は「古城」に開花盛期が近く、開花時期が重なっている（表1、2）。なお、過去4年（2003, 2004, 2006～2007年）の開花時期も重なっており（データ省略）、「南高」や小梅類（白王など）よりも「古城」に遅く、交配に適している。
3. 「古城」との交配親和性は、「八郎」は26.2%と高く、慣行授粉品種の「南高」や「白王」と同程度である（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 今後、現地複数圃場で、実際に「八郎」を高接ぎし、授粉樹としての適性を検証する必要がある。

表1 ウメ品種の開花時期(2008年)と花粉稔性

品種名	花粉稔性	2008年開花期			開花日数
		始	満開	終	
二青梅(台湾由来)	×	1/23	1/30	3/3	40
竜峡小梅		2/3	2/11	3/13	40
光陽小梅		2/4	2/19	3/13	39
前沢小梅		2/4	2/19	3/13	39
十郎		2/7	2/14	3/9	32
信濃小梅		2/7	2/19	3/13	36
皆平早生		2/11	2/22	3/10	29
佐太夫		2/11	2/21	3/13	32
織姫(小梅)		2/11	2/21	3/13	32
改良内田		2/14	2/22	3/13	29
天神		2/14	2/25	3/13	29
剣先		2/14	3/3	3/13	29
甲州最小(小梅)		2/14	2/22	3/9	25
白王(小梅)		2/14	2/22	3/9	25
河北		2/14	2/21	3/13	29
南高		2/19	3/1	3/13	24
地蔵		2/19	2/25	3/13	24
紅さし		2/19	3/3	3/13	24
金熊寺		2/19	2/22	3/10	21
児玉		2/19	2/22	3/13	24
青軸		2/19	3/3	3/18	29
薬師		2/20	2/22	3/10	20
加賀地蔵	×	2/20	2/22	3/13	23
白玉		2/21	3/3	3/13	22
小粒南高		2/21	2/25	3/10	19
鶯宿		2/21	2/25	3/10	19

品種名	花粉稔性	2008年開花期			開花日数
		始	満開	終	
玉英	×	2/21	3/3	3/21	30
難波一重		2/21	3/3	3/13	22
林州(福井県)		2/21	3/3	3/16	25
谷口紅梅		2/22	3/3	3/13	21
東地紅梅		2/22	3/3	3/16	24
養青		2/25	3/3	3/16	21
八郎		2/25	3/6	3/16	21
福寿	×	2/25	3/6	3/18	23
奥野梅	×	3/3	3/9	3/18	15
白粉梅(中国由来)		3/3	3/6	3/16	13
太平(豊後系)	×	3/3	3/9	3/13	10
古城	×	3/6	3/9	3/21	15
美里一号	×	3/6	3/13	3/21	15
四郷一号	×	3/7	3/13	3/21	14
白加賀	×	3/7	3/16	3/21	14
林州	×	3/9	3/13	3/18	9
花香実	×	3/9	3/13	3/18	9
豊後(豊後系)	×	3/9	3/13	3/18	9
伊那豊後(豊後系)		3/9	3/16	3/21	12
李梅	×	3/10	3/13	3/21	11
節田(豊後系)		3/11	3/13	3/21	10
ジャンボ高田(豊後系)		3/16	3/20	3/24	8
西洋梅	×	3/16	3/18	3/27	11
スモモウメ2号	×	3/16	3/18	3/28	12
スモモウメ1号	×	3/17	3/18	3/28	11

* 品種は開花始めの早い順に上から並べている。花粉稔性は十分な花粉管発芽能力のある品種を ないものを×とした。

表2 各品種の開花期間(2008)



注) 調査品種は各8年生樹

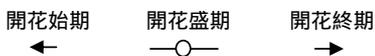


表3 古城との親和性

品 種	授粉数(花)	着果数(個)	着果率(%)
八 郎	237	62	26.2
南 高	197	42	21.3
白 王	224	70	31.3

注) 授粉は、3/5, 3/11, 3/17の3回実施
着果率は、4/18に調査

[その他]

研究課題名: 「古城」の授粉用品種の検討

予算区分: 県単

研究担当者: 林 恭平、 竹中正好

発表論文等:

研究期間: 平成 20 年度